

2013年2月吉日

会員各位

SAM大阪支部

SAM大阪 月例会のご案内

〒530-0003 大阪市北区堂島2-4-27 新藤田ビル14F
(学)産業能率大学内
TEL:06-6347-0321 FAX:06-6347-0328
担当:井上(事務局代表)・山本(運営担当)

拝啓 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、早速ですが月例会のご案内をさせていただきます。
何かとお忙しい時期とは存じますが、多数の方々のご出席をお待ちしております。

敬具

日 時	平成25 (2013) 年3月11日 (月) 講話・質疑13:10—15:30 ※会食はございません。講話開始は13:10です。ご注意ください。
場 所	中央電気倶楽部 (産業能率大学セミナールームではありません。ご注意ください) 〒530-0004 大阪市北区堂島浜2丁目1番25号 TEL 06-6345-6351
スピーカー	京都大学東アジア経済研究センター協力会 副会長 大森 経徳 (おおもり つねのり)氏
演 題	(1)「世界の貧困と格差の解消策をもとめて」 (2)「アラブの春」は、中国・ロシアに波及するか
内 容	英国で産業革命が始まって以来、200年以上が経過した現在でも、世界の主たる経済・政治問題、課題は、「貧困」と「格差」と「失業」である。 しかも、私のみるところ、今や世界の三大格差大国は、アメリカと中国とロシアである。その中でも中国とロシアはその格差の解消を目指して、労働者・農民を助け、大金持・資本家を倒す、として、共産革命、暴力革命まで起こした国である。その国が、革命後60年(中国)か90年(ロシア)しか経過していないのに、今や支配階級になって、大金持になっているのは、その共産革命を実行した革命家の子女であったり、縁戚者であったり、である。何よりも共産党員に大金持が一番多い、と言われているのは、大矛盾ではなかろうか? これらを中心に(1)(2)の演題について話したい。
講師略歴	昭和33年京都大学経済学部卒業。住友銀行入行、姫路支店長、経理部長、証券部長、神田支店長歴任後取締役船場支店長で退任。以後関係会社役員・社長就任。平成13年中国西安交通大学に1年間語学留学。留学期間を含め7年間で中国の31省・直轄市・自治区全てを視察・訪問、帰国後中国訪問は40回。5年前よりアジアの時代を先取りし、アジア視察・研究に注力中。 現在、京都大学東アジア経済研究センター協力会副会長。京都大学経済学研究科・経済学部名誉フェロー。社団法人大阪能率協会副会長アジア・中国事業支援室最高顧問。青海民族学院顧問。紹興市、琿春市経済顧問。 編著「北東アジアに激変の兆し」、「激変するアジアを往く～中国リスクの分散先を求めて～」; 共著「中国の近代化」(「アラブの春」は、中国・ロシアに波及するか)を発売。
会 費	2,000円
次回以降例会日程	4/8(月) 講師:未定 於:中央電気倶楽部

出欠のご返事は 3月8日(金)まで にお願ひ致します。 当日は時間厳守にご協力を願ひ致します。
